

岡山市議会 2013 年 11 月定例議会 個人質問

日本共産党岡山市議団 竹永みつえ

1・平和行政について

1) 岡山空襲展示室について

岡山シティミュージアム内に岡山空襲展示室がオープンして1年が過ぎました。

岡山空襲の体験者が中心となり20年以上の運動を経てこの施設ができた経過はもう皆さんご承知のとおりだと思います。事実を多くの方に知ってもらい来館した一人ひとりに平和を守り続けようとする気持ちを持ってもらうこと、次世代へ自分達の体験をしっかりとつたえ二度と戦争の起こらない社会をつないでいくことがこの施設の役割です。

そこで伺います。

1) 1年間の来館者の実績、イベント内容、利用した学校数など、施設の利用実績と新たにこの施設になったことで出来たことを含め1年の評価をおしめしてください。

2) 現在、3人の嘱託の学芸員が厳しい条件の中で一生懸命して下さっています。

NPO団体から受け継いだ400点以上の展示物、資料の数々を紛失や破損をさせず保管維持していくことや、資料や展示物の時代背景の調査という重要な仕事が日々の業務に追われなかなかできていないのではないかと？正規化か補充で仕事の質をふかめるよう改善できないでしょうか？

3) せっかく資料室に足を運んだ方が、なんの説明もなく通り過ぎていっていると伺っています。

命と平和を次世代につなぐ場所という主旨を来館者に伝えるために、体験者を中心としたボランティアを組織し、ナビゲーターのいる資料室にしていきたいかがか？

4) 400点以上の展示物や資料などの所蔵品を貸し出しを行い身近なところで展示などが出来るしくみを考えていただきたいがどうか？

2) 平和の伝承・啓発・教育について

1) 以前NPOで運営していたときは自主的な学校の見学が多くありました。

しかし熱心な先生が移動したらその学校の見学が途切れるなど継続したものになっていません、教育現場への啓発、岡山空襲展示室の位置づけはどうなっていますか？

- 2) 市内あちこちにある戦災遺跡も、戦争体験者が数少なくなりなかなか実体験を聞く機会が少なくなっている中、戦争の事実を知らせる貴重な媒体です。
資料室のパンフレットには紹介していますが、遺跡をまとめたアーカイブと実際の場所がリンクできる工夫をしていただきたいがいかがか？
- 3) 津島東三丁目にある旧陸軍歩兵使用の地下壕は岡山市管理下の市有地です。部隊緊急時に指令機能に移すための地下壕としてつくられたと言われ左右対称に大小の部屋があり潜望鏡も作られています。野戦訓練も受けたという証言もあります。同じものがすぐ近くの民家の地下にも残っています。また他にも 5 箇所、同じような遺跡が民地に残っています。それらを市として戦争の歴史的遺産として位置づけ戦争の継承のために許可がおりたところからアーカイブに残し市民に公開すべきと考えますがいかがでしょうか？
- 4) 生き証人の方がどんどん少なくなっている中、市として語り部リストをつくり、教育現場に発信することや、語り部養成などを企画していただきたいがいかがか？

2・マイナンバー法の運用にあたって

国民すべてに番号をつけ、税や社会保障などの個人情報をも国が一元管理する、共通番号制〔マイナンバー法〕関連法が成立しました。2015 年 10 月から国民すべてに 11 桁以上の個人番号が割り振られることとなります。私達日本共産党は、原則不変の番号で個人情報を照合できるしくみをつくることはプライバシー侵害を常態化する、初期投資だけで 3000 億円もの税金を注ぐのに費用対効果が示されていない、税や社会保障分野での徴税強化や給付削減の手段にされるという問題点がなんら解決していないという立場でこの法には反対しましたが賛成多数で決まってしまいました。

- 1) 法実施までの市としてのタイムスケジュールをお示してください
- 2) 共通番号制は見える化となります、DV加害者や性暴力加害者に被害者の情報を隠しとおせるのでしょうか？
- 3) 個人情報漏洩される恐れがある場合番号の変更可能とありますが、変更の徹底等はどうされるのでしょうか？
- 4) 市民への説明はどうするのか？
- 5) この法では公務員の守秘義務がないがしるにされ住民の個人情報の提供が求められます。市として職務で知りえた情報は担当部署が責任を持って管理し情報の利用は住民

の同意をもらうというしくみがつくれるのか？市としての情報管理責任はどうなるのか？

3・高齢者福祉について

1) 介護保険制度導入 13 年、超高齢化社会を目前にして

介護保険導入から 13 年がたちました、制度導入時「介護の社会化」「民間参入でサービスが充実」「利用者のサービス選択の権利が保障される」などメリットばかりが強調されました。あれから 13 年、今だに聞こえるのは「介護保険料が高い」「特養に入れない」「保険あって介護なし」というマイナスの声、介護殺人、介護難民、介護漂流などの言葉まで生まれ制度がほんとうに高齢者の福祉をささえるものとなっているのか疑問がぬぐえません。

超高齢化社会を目前に、市としても高齢者の実態をしっかりとつかみ、制度の拡充など備えを万全にする必要があります。2025 年岡山市の高齢化率は 27.3%、入院患者数は約 1300 人増え、要介護者は 5000 人増えるといわれています。

また、総務省の平成 23 年度の家計調査報告によると、世帯主が 60 歳以上で無職の方の平均的な夫婦 2 人の家計は、実収入約 22 万、税、社会保険料も含めた総支出は約 27 万円で 1 ヶ月間に約 5 万円不足、85 歳まで生きるとすると必要経費は $27 \text{万} \times 12 \times 25 \text{年} = 8100 \text{万円}$ 60 歳時点で 1500 万円の貯蓄がないとやっていけない、これはあくまで最低で生命保険文化センターの調査ではゆとりある生活は夫婦で月 36 万円、余裕ある生活だと 5000 万以上の貯蓄が必要。)

単身では、正社員を 40 年間続けた場合の厚生年金で男性の平均 15 万円、女性 10 万前後で、国民年金は満額 7 万円程度、家計調査では最低家賃の要らない人で月 3 万～5 万の赤字になるので 60 歳時で 1000 万円の貯蓄が必要です、介護状態になるともっともお金がかかるという実態です。在宅介護では家計の三分の一が介護費用に、施設介護では入る施設により異なりますが 1 ヶ月 15 万から 20 万必要になります。

唯一年金の範囲内で入居できるのが特別養護老人ホームですが 2,3 年待ちは当たり前という状況です。

これではすべての人が安心した老後というわけには行きません。

厚労省は「2025 年をめどに重度な要介護状態となっても住みなれた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される」システムを構築という言葉では理想的なことを掲げました

- 1) そこで伺います。2025 年にむけて、市としてこれからの高齢者社会をどうするのか、方向性をお示してください

- 2) 岡山市第 6 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定にあたって第 6 期の計画策定に向けての議論が始まります。
今、高齢者や施設入居の方へのアンケートをはじめましたが先ほど縷々述べたように、住み慣れた区域で暮らし続けるという理念を本当に汲み取る計画にするのであれば日常生活圏域で地域の課題やニーズを正確に把握することが必要だと思います。
 - 1) 日常生活圏域のニーズ調査はどうされますか？日常生活圏域ごとの計画をつくる住民参加もふくめた組織が必要ではないか？
 - 2) 地域包括センターの機能強化と地域ケア会議の役割はどう位置づけられますか
 - 3) 国で議論されている介護保険の改定では特別養護老人ホームの入居者を要介護 3 以上に限定されるとあります。今現在、岡山市の特養に入られている軽度者はどのくらいなのか？その受け皿はどうしようとお考えですか？
 - 4) 軽度者の中には認知症のケースが含まれそういう方が施設から締め出されるとどこに行けばいいのでしょうか？
 - 5) は割愛します
 - 6) 抜本的に、行き場所のない高齢者を生み出さないために老人福祉法に基づく施設等の整備充実が重要になります。第 6 期計画策定には定員増、新設も含めどの程度の定員を増やそうとお考えなのか？
 - 7) 今度の改革ではヘルパーとデイサービスが保険給付からはずされることになります。岡山市として何人の方が対象になるのか？その代替事業は総合事業でまかなえるのか？
 - 8) 介護保険給付の対象がはずされることに伴いどのくらいの給付費が削減されるのか？その金額を低所得者対策や、保険料削減、利用料減免等につかえないのか？
 - 9) 何よりも高い保険料の軽減が市民の願いです、基準額そのものを抑制するためには国庫負担の増額を国に求めること、低所得者への軽減、低所得者軽減には資産や扶養の条件を課さないなど利用者本位にたった保険料設定が求められます、お考えをお聞かせください。
- 10) 介護保険計画にもとづく介護保険料設定に際しての一般財源の投入は介護保険法令上禁じられていません、第 6 期では思い切って繰入を行い保険料の軽減をすべきではないでしょうか？

4・東区のまちづくりについて

まずは、今年の2月議会に取り上げたことについての続きから入りたいと思います。

- 1・西大寺会陽・裸祭りは日本三大奇祭の一つとして岡山市の貴重な観光資源として全市民的な盛り上げにつとめることと、JR西大寺駅前や会場にいたる動線の賑わい創出のため関係者と協議するとの答弁でしたが、その後の進捗状況をお示してください。

- 2・東区共通の問題として公共交通の問題があります。瀬戸町ではニーズ調査がされましたが、個々の課題解決と東区全体の連携と大きく2つの視点に立ち考えていかないといけないのではないのでしょうか？
 - ア) 瀬戸町、上道、古都、山南、上南の各地域の個別の交通課題と買い物難民等の対応策がそれぞれ必要です、どのようにお考えでしょうか？
 - イ) 瀬戸町、上道、古都地域は、今の交通体系のままだと岡山中心市街地か東岡山の方面に集結した住民の動線となります、せっきく合併し同じ東区となったのですから西大寺の中心市街地と連携できる交通網が必要だと思えますがいかがでしょうか？